

問1 だ液や、胃から出される胃液のように、体の中で食べ物を消化するはたらきをする液のことをまとめて何といいますか。

問2 消化された食べ物の養分は、おもに体のどの部分で吸収されますか。

問3 かん臓が、体の中でできたアンモニアをによう素につくり変えるのはなぜですか。

問4 だ液のはたらきによって、別のものに変化させられる食べ物の中の成分は何ですか。

問5 ヒトが体の中から外へ吐き出す<sup>はきだす</sup>空気のこと、吸う息に比べて酸素が減り、二酸化炭素や水（水蒸気）が多く<sup>ふく</sup>まれているものを何といいますか。

問6 空気中の酸素の一部を体にとり入れ、体の中でできた二酸化炭素を外にはき出すはたらきのことを何といいますか。

問7 私たちの体の中で、血液を全身に送り出すはたらきをしている臓器はどれですか。

問8 食べ物に含まれる水分が、小腸や大腸で体の中に<sup>こ</sup>取り込まれることを何といいますか。

問9 じん臓の調節機能では、血液から不要物をこしとった後に、体の中の状態を保つためにどのようなことを行っていますか。

問10 タンパク質が体の中で使われるときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒な物質につくり変えたものを何といいますか。

問11 消化液のなかまで、胃から出されて消化のはたらきをする液は何ですか。

問12 ヒトの体の中で、消化された養分がおもに吸収される器官はどこですか。

問13 魚が呼吸をするために使っている、水の中から酸素をとり入れるための器官は何ですか。

問14 心臓がたえず動き続けることによって、全身に送られているものはどれですか。

問15 食べ物に含まれる水分は、主にどの臓器で吸収されますか。

問16 小腸という器官では、おもにどのようなはたらきが行われていますか。

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 消化液	食べ物を消化するはたらきをする液のことを消化液といいます。だ液や胃液などがこれにあたります。
問2	答え 小腸	消化された食べ物の養分は、おもに小腸で吸収されます。
問3	答え 有毒なアンモニアを無毒な物質にするため。	アンモニアは体にとって有害な物質であるため、かん臓で無毒な尿素という物質につくり変えられます。
問4	答え てんぷん	だ液には、食べ物に含まれている <sup>ぶく</sup> てんぷんを別のものに変化させる性質があります。
問5	答え はいた息	ヒトが体の中から吐き出す <sup>はきだす</sup> 空気のことを「はいた息」といいます。吸う息に比べて、酸素が減って二酸化炭素や水蒸気が増えているのが <sup>とくちょう</sup> 特徴です。
問6	答え 呼吸	空気中の酸素を体にとり入れ、体内でできた二酸化炭素を外に出すはたらきを呼吸といいます。
問7	答え 心臓	血液を全身に送り出すポンプのようなはたらきをしている臓器は心臓です。
問8	答え 水分の吸収	食べ物に含まれる <sup>ぶく</sup> 水分が、小腸や大腸から体の中に取り込まれることを「水分の吸収」といいます。
問9	答え 必要な物質を血液中也もどし、塩分や水分の量を一定に保つ。	じん臓の調節機能は、こしとったものの中から必要な物質を再び血液中也もどし、体の中の水分や塩分の量を一定に調節しています。
問10	答え 尿素	タンパク質が使われたときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒に変えた物質を尿素といいます。
問11	答え 胃液	胃から出されて消化のはたらきをする消化液は胃液です。だ液は口から出される消化液です。
問12	答え 小腸	消化された養分がおもに吸収される器官は小腸です。
問13	答え えら	魚は「えら」という器官を使って、水の中で呼吸をしています。
問14	答え 血液	心臓はポンプのように動くことで、血液を全身に送り出すはたらきをしています。
問15	答え 小腸や大腸	食べ物に含まれる <sup>ぶく</sup> 水分は、主に小腸や大腸という臓器で体に吸収されます。
問16	答え 消化された養分を吸収する。	小腸は、消化された養分をおもに吸収する役割をもっています。